



FUJIBO

The Focus on Innovation

第**198**期 報告書

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



代表取締役会長兼社長

中野光雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第198期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、米国や欧州の政治動向、アジア・中東情勢等の地政学リスクなど海外経済の不確実性による先行き不透明感があったものの、企業収益は堅調に推移し、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しも見られ、緩やかな回復基調が続きました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは中期経営計画『加速17-20』において、計画期間の前半2年間を拡大に向けての「変革の加速」ステージと位置づけ、基本戦略である「収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大」のための基盤創りと「繊維事業の構造改革による反転攻勢」に取り組んでおります。

当期の業績は、研磨材事業で一般工業用途の前年からの反動減の影響が大きく、連結売上高は前年同期比4,986百万円（12.2%）減収の35,891百万円で、営業利益は前年同期比2,826百万円（41.5%）減益の3,989百万円、経常利益は前年同期比2,806百万円（39.7%）減益の4,269百万円となりました。特別損益に投資有価証券売却益、固定資産処分損および減損損失等を計上し、税金費用等を差し引いた結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比1,436百万円（33.1%）減益の2,908百万円となりました。

当期の期末配当金につきましては、経営環境および業績等を勘案し、1株当たり100円とさせていただきますと存じます。

中期経営計画『加速17-20』では、計画最終年度の2020年度連結ベースの経営指標として、営業利

益100億円、ROE15%以上を目標としております。当社は、この目標の達成に向けて、利益重視に立脚した重点3事業の加速を基本方針とし、①収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大 ②繊維事業の構造改革による収益力向上と反転攻勢 ③成長加速に向けてのホールディングス機能の強化の3つの基本戦略をスピード感を持って実行し、当社グループの企業価値拡大を「加速」させてまいります。

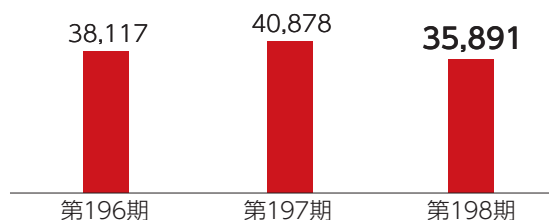
2017年度から2018年度の計画期間の前半2年間は、後半2年の企業価値拡大を加速する「成長の加速」ステージに向けて、拡大のための基盤創りを進めています。研磨材事業では、特定の研磨用途での需要変動の影響により、年度ごとの業績の振れ幅が大きいという課題に対処するため、半導体デバイス用途を中心に最先端技術に対応する製品の拡大基盤創りに向け、台湾新工場や国内新工場など積極的な設備投資に取り組んでいます。また、専門マーケティング部隊が事業拡大に向けた新しい研磨領域・用途・工程の開拓を進めています。化学工業品事業では、営業力強化による新規受託商材の獲得で生産設備のフル稼働体制の構築を進めています。繊維事業では、レディス分野やネット販売など新規商材・新規チャネルの拡大と積極的な広告宣伝で販売面での反転攻勢を進め、生産・物流面の絶えざる構造改革で「稼ぐ力」を向上させています。その他の事業では、化成品事業で医療機器用途など新規商材拡大のための設備投資を行い、重点3事業に続く第4の柱事業として育成すべく事業基盤整備を進めています。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月

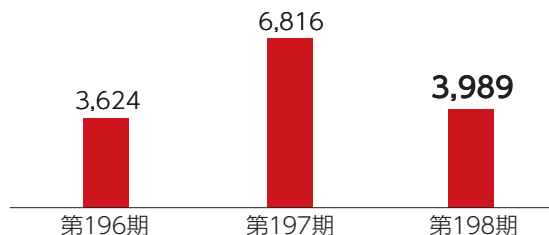
売上高

(単位：百万円)



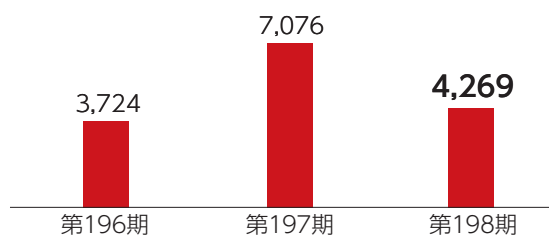
営業利益

(単位：百万円)



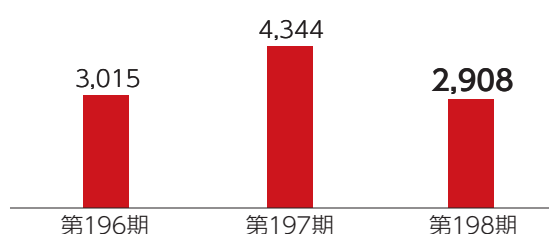
経常利益

(単位：百万円)

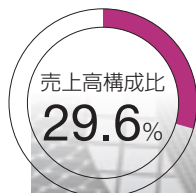


親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



事業の概況



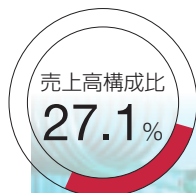
研磨材事業



主力の超精密加工用研磨材のうち、シリコンウエハー用途および半導体デバイス用途（CMP）はメモリ・通信用途等を中心とした好調な半導体需要を受け順調に拡大しました。ハードディスク用途もデータセンター向けサーバー用需要が高く、堅調に推移しました。しかしながら、液晶ガラス用途はパネル在庫調整が続き、ユーザーのモデルチェンジに伴う需要期で前年大幅増となった一般工業用途は反動減となりました。



この結果、売上高は前年同期比3,789百万円減収の10,642百万円、営業利益は3,341百万円減益の2,251百万円となりました。



化学工業品事業



化学工業品事業は、機能性材料・農薬原体・医薬中間体の受託製造を中心に新規受注活動を強化し安定生産を継続することができたものの、海外からの原料の入荷遅れおよび一部ユーザーからの受注減少により、フル稼働には至りませんでした。



この結果、売上高は前年同期比543百万円減収の9,716百万円、営業利益は258百万円減益の606百万円となりました。



繊維事業

繊維事業は、繊維製品ではインターネットなど新規チャネルや、「B.V.D.」ブランドのレディース商品の販売が拡大し、OEM製品・共同開発商品も堅調に推移しました。また、百貨店向け商品を中心にこれまで実施した構造改革が、物流費用の低減など総合的なコストダウンに繋がり、採算性が大幅に改善しました。原糸など繊維素材も高付加価値製品へのシフトが進みました。

この結果、売上高は前年同期比152百万円減収の12,376百万円、営業利益は802百万円増益の971百万円となりました。



その他の事業

化成事業は、デジタルカメラ用部品および医療機器用部品が堅調に推移し、自動車用部品も採算が改善しました。一方、貿易事業では、天井扇や農業用など機械類の輸出は回復傾向となったものの、中米カリブ海地域の経済停滞で車両・タイヤなど自動車関連は減少し、低調に終わりました。

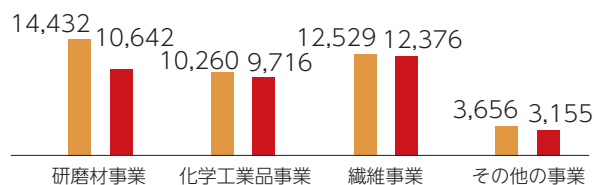
この結果、売上高は前年同期比501百万円減収の3,155百万円、営業利益は28百万円減益の160百万円となりました。



売上高

(単位：百万円)

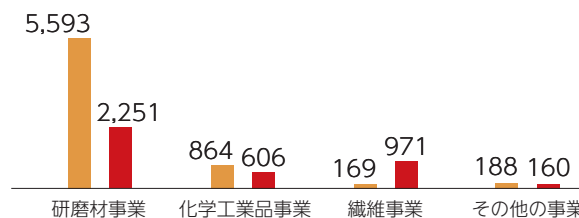
■ 17年3月期 ■ 18年3月期



営業利益

(単位：百万円)

■ 17年3月期 ■ 18年3月期



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期		前期		科目	当期		前期	
	2018年3月31日 現在		2017年3月31日 現在			2018年3月31日 現在		2017年3月31日 現在	
資産の部	48,716		50,044		負債の部	16,568		19,895	
流動資産	19,545		23,355		流動負債	9,259		12,392	
現金及び預金	4,764		8,734		支払手形及び買掛金	4,048		4,457	
受取手形及び売掛金	8,843		8,860		電子記録債務	510		414	
商品及び製品	2,220		2,243		短期借入金	1,217		2,301	
仕掛品	1,736		1,816		リース債務	97		113	
原材料及び貯蔵品	1,064		975		未払法人税等	325		1,163	
繰延税金資産	404		419		賞与引当金	659		674	
その他	528		327		返品調整引当金	42		89	
貸倒引当金	△17		△20		資産除去債務	—		13	
					その他	2,359		3,164	
固定資産	29,171		26,688		固定負債	7,308		7,502	
有形固定資産	26,258		23,598		長期借入金	120		316	
建物及び構築物	5,985		5,671		リース債務	107		182	
機械装置及び運搬具	5,250		5,323		繰延税金負債	1,052		1,024	
土地	13,874		11,985		再評価に係る繰延税金負債	732		733	
リース資産	30		49		退職給付に係る負債	4,947		4,900	
建設仮勘定	738		177		資産除去債務	240		237	
その他	378		391		その他	107		108	
無形固定資産	380		403		純資産の部	32,148		30,149	
投資その他の資産	2,532		2,686		株主資本	29,907		28,028	
投資有価証券	2,163		2,308		資本金	6,673		6,673	
長期貸付金	—		14		資本剰余金	2,174		2,174	
繰延税金資産	76		85		利益剰余金	21,631		19,750	
その他	292		279		自己株式	△571		△569	
貸倒引当金	△0		△1		その他の包括利益累計額	2,240		2,120	
資産合計	48,716		50,044		その他有価証券評価差額金	668		739	
					繰延ヘッジ損益	△8		△7	
					土地再評価差額金	1,272		1,274	
					為替換算調整勘定	330		176	
					退職給付に係る調整累計額	△21		△62	
					非支配株主持分	0		0	
					負債純資産合計	48,716		50,044	

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	2017年 4月1日～ 2018年 3月31日	2016年 4月1日～ 2017年 3月31日
売上高	35,891	40,878
売上原価	23,453	25,591
売上総利益	12,438	15,286
販売費及び一般管理費	8,448	8,470
営業利益	3,989	6,816
営業外収益	458	446
受取利息	4	4
受取配当金	46	43
固定資産賃貸料	234	232
受取補償金	—	90
補助金収入	135	30
その他	37	45
営業外費用	179	186
支払利息	12	20
固定資産賃貸費用	64	67
コミットメントフィー	35	33
為替差損	20	2
その他	45	62
経常利益	4,269	7,076
特別利益	187	5
固定資産売却益	0	5
投資有価証券売却益	186	0
特別損失	227	719
固定資産処分損	121	109
減損損失	21	585
関係会社清算損	41	—
環境対策費	41	—
その他	1	23
税金等調整前当期純利益	4,229	6,362
法人税、住民税及び事業税	1,250	2,276
法人税等調整額	70	△259
当期純利益	2,908	4,344
非支配株主に帰属する 当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,908	4,344

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	2017年 4月1日～ 2018年 3月31日	2016年 4月1日～ 2017年 3月31日
営業活動によるキャッシュ・ フロー	3,698	7,994
投資活動によるキャッシュ・ フロー	△5,309	△851
財務活動によるキャッシュ・ フロー	△2,434	△2,515
現金及び現金同等物に 係る換算差額	43	△30
現金及び現金同等物の 増減額（減少：△）	△4,002	4,597
現金及び現金同等物の 期首残高	8,697	4,099
現金及び現金同等物の 期末残高	4,694	8,697

Topics 1

研磨材事業

2020年の稼働に向け新工場を建設

あらゆるモノをインターネットでつなぐIoT(モノのインターネット)や、AI(人工知能)の進展を支える電子部品・デバイスの製造工程では、超精密研磨が欠かせず、さらに研磨材の需要が高まることが期待されています。

フジボウ愛媛(株)の研磨材事業は、壬生川工場(愛媛県)をマザー工場として、小山工場(静岡県)、小坂井工場(愛知県)と業容を拡大してきました。その後も高度化、多様化するお客様のニーズに応える最適な生産体制の構築に向



け、現在建設中の台湾新工場のほか、国内では別府湾に位置する大分臨海工業地帯に、超精密加工用研磨材の新工場を建設することとしました。

新工場は、フジボウ愛媛(株)が長年にわたり培ってきた技術と経験を活かして、最先端の研磨技術への対応を図るとともに、実績ある安全環境対策を導入し、2020年夏頃の操業開始を目指します。



Topics 2

化学工業品事業

充実した開発体制で多様なニーズに応える

柳井化学工業(株)は、医薬品、農薬、電子材料などの中間原料となるファインケミカル製品の受託製造を担っています。このファインケミカル事業は、大規模な石油化学分野とは異なり、少量多品種で一つひとつの市場規模は小さいですが、さまざまな機能を付加することが可能な有望な分野です。

例えば、医薬品などのヘルスケア分野や環境にやさしい新世代農薬原体のほか、高速通信向け電子材料な



どさまざまな特性をもつ機能性材料に用いられています。

着実な市場拡大の一方、国内外で競争は厳しく、新製品開発にはスピードが求められ、品質要求も高まっています。積極的な設備投資による充実した開発体制とこれまで蓄積してきた生産ノウハウを活かし、「品質」「安全」「環境」に最大限の配慮をしながら、お客様である大手化学メーカーの多様なニーズに迅速に対応していきます。



Topics 3

繊維事業

スポーツ大好き女性をインナーで応援

東京オリンピックを前に、スポーツに親しむ女性が増えています。ランニングは手軽に続けやすい女性に人気のスポーツですが、最近は自然の中でハイキングのように景色の変化やおいしい空気も楽しめ、全身の運動にもなるトレイルランニング（山岳レース）が人気です。



「スポーツする女性を応援する」をテーマに“軽くて快適”“胸揺れを防ぐ”製品を提供する

B.V.D.Ladiesは、トレイルランニングのトップランナー吉住友里さんのサポートを始めました。

B.V.D.Ladiesのホームページでは、理学療法士でもある吉住さんの体調調整法などのアドバイス、フィットネスインストラクターの湯浅まゆさんとの対談のほか、さまざまなスポーツシーンに最適なスポーツブラを提案し、ネット販売も好調です。

ライフスタイルにスポーツを取り入れ、ワクワクしながら新しいことにチャレンジする、スポーツ好きな女性をB.V.D.Ladiesは、応援します。



Topics 4

化成品事業

お客様と連携し、新分野に挑む

フジボウテキスタイル(株)大分工場の化成品事業は、射出成形部門だけでなく、高品位な仕上がりに定評のある塗装部門を併設し、多様なお客様のニーズに応えられることが特色です。

異なる材料同士を組み合わせる二色成形機や、塗装ロボットなど、積極的な設備投資により、高級一眼レフデジタルカメラ用部品を主力として業容を拡大してきましたが、近年は高い技



術が求められる二色成形技術を活かして、医療機器用部品でも実績を重ねています。

お客様のニーズに応える新たな付加価値のある製品で受注を拡大しており、化成品事業を重点3事業に続く第4の柱に育成するため、今年度中の新工場建設に着手しています。



会社概要 (2018年3月31日現在)

商号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大阪支社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設立	1896年3月24日
資本金	66億7383万2000円
従業員数	単体92名 連結1,353名
主要な 事業内容	1. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 2. 各種化学工業品の製造、加工、販売 3. 各種繊維製品の製造、加工、販売

連結対象会社 (2018年3月31日現在)

■ 研磨材事業

フジボウ愛媛 (株)
台湾富士紡精密材料股份有限公司
フジケミ (株)

■ 化学工業品事業

柳井化学工業 (株)

■ その他の事業

フジボウ愛媛 (株)
フジボウテキスタイル (株)
三泰貿易 (株)
フジケミ (株)

(注) フジケミ(株)は2018年4月1日付けで三泰貿易(株)を吸収合併しております。

■ 繊維事業

フジボウ愛媛 (株)
(株) フジボウアパレル
フジボウトレーディング (株)
(株) フジボウソーイング
富士紡 (常州) 服装有限公司
ジンタナフジボウコーポレーション
フジボウテキスタイル (株)
タイフジボウテキスタイル (株)
アングル (株)
三泰貿易 (株)
富士紡 (上海) 商貿有限公司

役員 (2018年6月28日現在)

代表取締役会長兼社長 社長執行役員	中野光雄
代表取締役 副社長執行役員	青木隆夫
代表取締役 専務執行役員	吉田和司
取締役 上席執行役員	木原勝志
取締役 上席執行役員	藤岡敏文
取締役	中野雅男
取締役	茅田泰三
取締役	秀島信也
常勤監査役	松尾弘秋
常勤監査役	大西秀昭
監査役	飯田直樹

(注) 1. 取締役の中野雅男、茅田泰三、秀島信也の3氏は社外取締役であります。
2. 監査役の大西秀昭、飯田直樹の両氏は社外監査役であります。

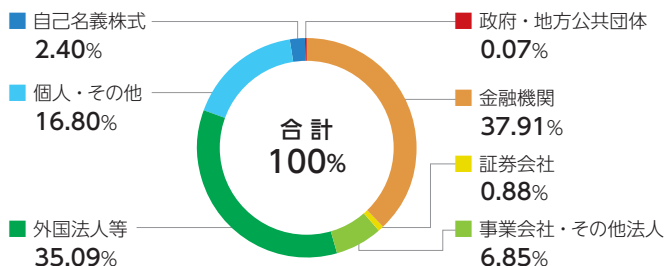
執行役員 (2018年6月28日現在)

上席執行役員	豊岡保雄
執行役員	鈴木眞
執行役員	野口篤謙
執行役員	岡田祐明
執行役員	井上雅偉
執行役員	竹内義一
執行役員	中村隆夫

株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,720,000株
株主数	5,700名

所有者別分布状況

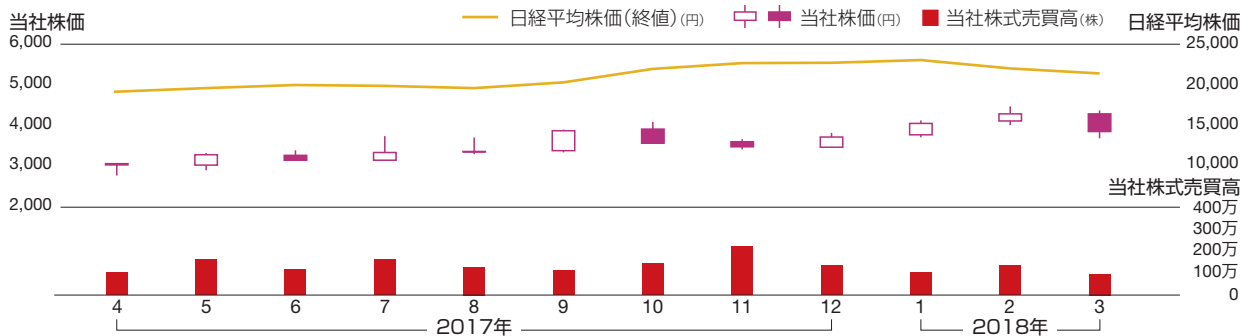


大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	698,000	6.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	650,100	5.68
明治安田生命保険相互会社	533,500	4.66
株式会社三菱東京UFJ銀行	500,000	4.37
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	418,100	3.66
三菱UFJ信託銀行株式会社	322,500	2.82
RE FUND 107-CLIENT AC	300,000	2.62
フジボウ共栄会	272,200	2.38
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	252,215	2.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	227,800	1.99

- (注) 1. 当社は自己株式を281,205株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日付けで株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.fujibo.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告
によることができない場合は、東京都において
発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12
電話 03-3665-7777(代)



<https://www.fujibo.co.jp/>

